



## 花博開催に沸く台湾の観光拠点

台湾観光協会 大阪事務所

「胡蝶蘭王国」と呼ばれる台湾で、11月6日から【2010台北国際花博覧会】が開催されます。今回は、名古屋から以西の台湾の観光拠点、台湾観光協会 大阪事務所の王沁しんじゆう 柔氏に台湾の観光と花博についてお話を伺いました。

### 台湾の魅力を発信

大阪から1日6便就航し、約3時間のフライトで訪問できる台湾。台湾観光協会 大阪事務所は、1999年5月、個人旅行や観光情報の提供、旅行会社とのツアー商品開発等を目的に、大阪・北区西天満にオープンしました。御堂筋を一望できる事務所には、ツアーパンフレットや観光情報が揃えられ、スタッフが様々な相談にのってくれます。

今年は、「楽しい、美味しい、美しい、台湾へ」をキャッチフレーズに例年以上に観光促進に力を入れているそうです。故宮博物院を始めとした悠久の歴史と文化を有しながらも、一方では、世界第二位の高さを誇る台北101展望台など温故知新な台湾を体験して欲しいと王さん。王さんのお薦めは、台北から少し足を伸ばし、気楽にのんびりできる鉄道の旅。日本の新幹線「のぞみ」を改造した【700T】系台湾高速鉄道や在来線を使い、バナナ畑や美しい溪谷、日本時代の建物など台北とは違った風景や現地の方々との触れ合いが楽しめます。また、今年は、台湾が初めて正式に国際的承認を得て実施する博覧会「2010台北国際花博覧会」が11月6日から開催されます。

### 2010台北国際花博覧会

総面積約92haの会場内で、最大約3200万株を使用し、800〜1000品種の蘭の他、約300品種の植物・花を一度に観賞できる博覧会です。4つの会場に特色ある14の展示館が開設されます。

#### ・円山公園エリア

「花の新ファッションショー」を始め、台湾のファッション・トレンドとデザインを表現し、児童育楽センターの民族エリアにおける複数の建物を改修したものを設置します。

#### ・美術公園エリア

「花の舞、蝶飛、緑生活」をテーマとしたチョウ



信義商圈 台北101ビルを中心とした複合式エンターテイメントエリア

館や日本時代における台北故事館を改修した建物を紹介すると共に講習会等を行います。

#### ・新生公園エリア

大型の温室に花の最新品種を紹介し、未来の大自然的な新たな姿を描いた未来館や台湾が開発した最先端の電子テクノロジー、樹齢100年から800年の貴重な盆栽等を展示します。

#### ・大佳河濱公園エリア

様々な花の色彩を感じられる花のじゅうたんや「水とレジャー」をテーマに台湾の植物と花の特色を紹介。特殊な香りや外観により五感に働きかけます。

台湾と言えば、グルメやショッピングが楽しめるというイメージが強かったのですが、今回お話を伺い、その他、たくさんの魅力がある場所だと思いました。中央山脈と海岸山脈の間広がる溪谷、壮大な温泉郷、そして夜市・・・今までのイメージを覆すものばかり。ツアーで参加した方が、2回目以降は、個人で旅行を楽しむ方が多いと王さんがおっしゃるのも頷けました。

#### 2010台北国際花博覧会

開催期間 2010年11月6日～2011年4月25日

会場 円山公園エリア、美術公園エリア、新生公園エリア、大佳河濱公園エリア

<http://www.2010taipeiexpo.tw/mp.asp?mp=6>

台湾観光協会 大阪事務所

大阪市北区西天満4の14の3 住友生命御堂筋ビル6F

電話 06・6316・7491

営業時間 9時30分～18時30分(12時～13時 休憩)

休日 土・日・祝祭日、台湾旧正月元旦、國慶節

<http://www.go-taiwan.net/>



日本時代における台湾の紳士の生活を紹介する故事館  
2010台北国際花博覧会 提供

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞